

A 拡大・B 強化
E 廃止

今後の取組・・・A：事業費を増加したもの B：内容を充実させるもの
C：昨年度の計画とおおむね同様の内容で開催するもの D：事業費を削減したもの E：廃止したもの
※事業費は決算額であり、事業予算が前年度と比して増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

				R 6		R 7		
				事業内容	事業費		昨年度からの変更点	事業予算
① 協働による文化活動の推進 (13万人)	1	草津市美術展覧会	生涯学習課	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・イラストの7部門による公募型の美術展覧会を開催。 市制施行70周年記念賞を設けたほか、今回からイラスト部門が正式化された。初日には県立美術館によるワークショップ、移動図書館、絵本の読み聞かせ、キッチンカー等、会場であるキラリエ前や周辺でのイベントも実施した。	2,269千円	B 強化	実行委員による催しやワークショップ等、来場者がより楽しめる展覧会となる工夫を検討している。また、ペンネームによる出品を認める等、出品者を増やす手法についても検討していく。	2,690千円
	2	ビワアートコレクション	生涯学習課	アーティスト等による、草津の文化的資産や季節等をテーマにしたアートワークショップを年3回実施。アートフェスタくさつのイベントとして開催したBIWART FESでは、10月1日～10月9日の間中学生によるガラスアート作品を展示、14日に記念セレモニーやビワアートコンテストの表彰式、草津宿街道交流館によるワークショップによりイオンモール草津館内をアートで彩った。	10千円	C 継続	イオンモールと協議の上、方向性を検討中。	10千円
	3	立命館びわこ講座	生涯学習課	立命館大学との共催により、生涯学習の連続講座を対面・オンデマンド配信により実施した。今年度はより幅広い学習機会を提供できるよう音楽等講座のカテゴリーを増やし、受講者の文化に関する関心や興味を引き出すこともできた。 テーマ：「ウェルビーイングから学ぶ健康」 講師：高田 剛司 氏（食マネジメント学部助教）、真田 樹義 氏（スポーツ健康科学部教授）、阿部 俊彦 氏（理工学部准教授）、仲内 悠祐 氏（宇宙地球探査研究センター助教）、宮本 直美(文学部教授)、斎藤 真緒（産業社会学部教授）、矢藤優子（総合心理学部教授）、本郷真紹氏（文学部教授）	300千円	B 強化	・2コース制での実施で調整中 ・全体の講座数の増加（8講座→9講座）	300千円
	4	クレアプラスフェスティバル	文化ホール	草津市芸術祭音楽部門と同日に開催。 市内中学・高校から大学・一般バ'ンド'が一堂に会するブラスの祭典。 各団体ごとの演奏、全出演団体対象の合同演奏。	1,324千円	B 強化	草津市一般吹奏楽連盟を主にクレアプラスフェスとして実行委員会制で開催	1,597千円
	5	草津市芸術祭	文化ホール	市民文化の向上と文化活動の推進を図り、心豊かな市民生活を実現するため、市民文化活動の発表の場を提供する。 R6から芸術祭での展示を目標とした「立体」「書」「絵画」各部門の全5～8回の初心者向け美術講座（アートスクール）を開校。講師に草津美術協会会員を迎え、部門ごとに数回のワークショップを実施した。	1,324千円	C 継続	芸術祭は前年度と同様の内容で実施するが、アートスクールは今年度より市から委託を受けた文化芸術担い手育成事業として実施し、草津市美術協会、草津市文化協会、地元で活躍するアーティストと連携して、創作分野・伝統芸能分野・パフォーマンス分野での初心者向け連続講座を実施し、受講者の成果発表の場として芸術祭の中で展示や舞台発表を行う。	2,046千円
	6	市民と創るコンサート	文化ホール	草津のゴスペルグループ「草津クワイア」のディレクターでありゴスペルシンガーの平田ゆり（草津市出身 東京都在住）を迎え、 「草津クワイア」と創るクリスマスコンサートを実施。 関連事業として6月23日(日)に「草津クワイア」によるロビーコンサートを実施。	2,788千円	C 継続	クレアホール開館10周年を記念して、これまで連携してきた音楽団体等と音楽会を制作	1,836千円
	7	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業	UDCBK	都市デザインマネジメントスクールでは、都市デザイン・まちづくりに関するテーマについて、全国の先進事例の紹介や社会実験等を効率的に進めるための講演を5回実施した。 アーバンデザインセミナーでは、広く市民がアーバンデザインを身近に感じることができるよう、「地域のまちづくりの課題」をテーマにセミナーを4回開催した。	284千円	E 廃止	—	—
	8	みなくさまつり	商工観光労政課	市制施行70周年・立命館大学BKC開設30周年・JR南草津駅開業30周年を記念し、ブースを増やすとともに、エリアを拡大しての開催となった。	2,685千円	D 縮小	R5までの例年通りの規模での開催を予定している。	2,185千円
	9	くさつ図書館まつり	図書館	ボランティアの方に協力いただきながら図書館主催で開催した。書庫ツアーやビブリオトーク、折り紙遊び、おはなし会など、子どもから大人まで図書館と本を楽しめるイベントを実施した。 また、市制施行70周年記念として、絵本マラソンを行い、70冊の絵本の読み聞かせを行った。	0千円	C 継続	図書館DAYとして企画を再編し、図書館主催で実施する。	0千円
② 文化施設の活用 (13万人)	10	文化ホール管理運営業務	生涯学習課	指定管理期間：令和2年度～令和6年度 文化振興計画に基づく重点プロジェクトの展開に向けて協働で取り組んだ。 なお、アミカホールについては改修工事に伴う休館期間があった。	116,583千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	128,573千円
	11	アートスタート事業	R6文化ホール R7生涯学習課	文化ホールと連携し、未就学児を対象としたオーケストラによるミニコンサートを開催した。	347千円 220千円	B 強化	市の委託事業として予算規模を拡大して継続。将来の文化芸術の担い手や観客育成のため、演目の工夫やプロ奏者の起用を行い、未就学児を対象に親子で参加できる本格的なコンサートを開催する。	1,162千円
	12	アートセンター	文化ホール	プログラム開発、相談、アーティストマネジメント、コーディネート、舞台芸術プロデュース R6.12.25 ロビーコンサート R7.2.9 早春コンサート（アミカホール） R7.2.15 懐かしの映画音楽とスタンダードジャズ（アミカホール）	6,041千円	C 継続	これまでのアートセンターが制作してきたオリジナルプログラムの積極的な活用をしていく。	2,640千円
③ 情報の収集および （ふるさと草津）	13	次世代文化体験プロジェクト情報発信事業	生涯学習課	草津市教育委員会が後援している事業のうち、次世代文化体験プロジェクトに該当するものについて、該当事業をリスト化し、ホームページ、アプリ等で周知を行う。	0千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	0千円
	14	YouTubeを活用した公演アーカイブ事業	文化ホール	自主事業を記録して参加団体へ配布し、ダイジェスト版を作成し配信した。	382千円	D 縮小	事業のダイジェスト版のみ公開	—
	15	アートセンターニュース	文化ホール	アートセンターニュースとして毎月発行。事業実施予定や草津アミカホール、草津クレアホール両館の貸館情報を掲載。 市内公共施設、県内文化ホール棟に配架。	376千円	C 継続	2館の情報誌として充実させる	600千円
	16	月刊アートセンター	文化ホール	えふえむ草津『月刊くさつアートセンター』として月2回放送 初回放送 第1週木曜日12:00-13:00 再放送 第2週木曜日12:00-13:00 第1・2週木曜日20:00-21:00、25:00-2:00	375千円	B 強化	F Mくさつのパーソナリティーによる、草津クレアホール 草津アミカホールを拠点として活動している団体紹介や、アーティストをゲストに迎えたトーク番組に変更。	500千円

9事業

3事業

4事業

A 拡大・B 強化
E 廃止

今後の取組・・・A：事業費を増加したもの B：内容を充実させるもの
C：昨年度の計画とおおむね同様の内容で開催するもの D：事業費を削減したもの E：廃止したもの
※事業費は決算額であり、事業予算が前年度と比して増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

				R 6		R 7			
				事業内容	事業費		昨年度からの変更点	事業予算	
④文化活動を担う人材の育成および活用 （次世代）	17	クリエイターズマーケット	生涯学習課	展示／販売／ワークショップの他、食のマルシェやライブなど県内外で活躍するアーティスト、クリエイターによる出店を行った。 作家：12組、飲食：21組、パフォーマンス：6組	※アートフェスタに含む	C継続	今後、実行委員会にて事業計画を検討していく。	※アートフェスタに含む	
	18	アートスクール	生涯学習課	【文化ホール事業として】 絵画 6/5・6/12・7/3・7/10・8/7・8/21・9/4・9/11 立体 7/26・8/2・8/9・8/16・8/23 書 6/6・6/20・7/4・7/25・8/8・8/29・9/5・9/15 草津市芸術祭2024での展示を目標とした「立体」「書」「絵画」各部門の全5～8回の初心者向け美術講座を開校。講師に草津美術協会会員を迎え、部門ごとに数回のワークショップを実施した。	321千円	B強化	草津市美術協会、草津市文化協会、地元で活躍するアーティストと連携し、創作分野・伝統芸能分野・パフォーマンス分野における初心者向けの連続講座を、クレアホールやアマカホール、まちづくりセンターといった市内各地にて実施し、受講者の成果発表の場として草津市芸術祭の中で展示や舞台発表を行う。	1,665千円	
	19	アートセンター	文化ホール	プログラム開発、相談、アーティストマネジメント、コーディネート、舞台芸術プロデュース、 R6.12.25 ロビーコンサート R7.2.9 早春コンサート（アマカホール） R7.2.15 懐かしの映画音楽とスタンダードジャズ（アマカホール）	6,041千円	C継続	これまでのアートセンターが制作してきたオリジナルプログラムの積極的な活用をしていく。	2,640千円	
	(2)	〔再掲〕ピワアートコレクション	生涯学習課	アーティスト等による、草津の文化的資産や季節等をテーマにしたアートワークショップを年3回実施。アートフェスタくさつのイベントとして開催したBIWART FESでは、10月1日～10月9日の間中学生によるガラスアート作品を展示、14日に記念セレモニーやピワアートコンテストの表彰式、草津宿街道交流館によるワークショップによりイオンモール草津館内をアートで彩った。	10千円	C継続	イオンモールと協議の上、方向性を検討中。	10千円	
	(3)	〔再掲〕立命館びわこ講座	生涯学習課	立命館大学との共催により、生涯学習の連続講座を対面・オンデマンド配信により実施した。今年度はより幅広い学習機会を提供できるよう音楽等講座のカテゴリーを増やし、受講者の文化に関する関心や興味を引き出すこともできた。 テーマ：「ウェルビーイングから学ぶ健康」 講師：高田 剛司 氏（食マネジメント学部助教）、真田 樹義 氏（スポーツ健康科学部教授）、阿部 俊彦 氏（理工学部准教授）、仲内 悠祐 氏（宇宙地球探査研究センター助教）、宮本 直美(文学部教授)、斎藤 真緒（産業社会学部教授）、矢藤優子（総合心理学部教授）、本郷真紹氏（文学部教授）	300千円	B強化	・2コース制での実施で調整中 ・全体の講座数の増加（8講座→9講座）	300千円	
	(5)	〔再掲〕草津市芸術祭	文化ホール	市民文化の向上と文化活動の推進を図り、心豊かな市民生活を実現するため、市民文化活動の発表の場を提供する。 R6から芸術祭での展示を目標とした「立体」「書」「絵画」各部門の全5～8回の初心者向け美術講座（アートスクール）を開校。講師に草津美術協会会員を迎え、部門ごとに数回のワークショップを実施した。	1,324千円	C継続	芸術祭は前年度と同様の内容で実施するが、アートスクールは今年度より市から委託を受けた文化芸術担い手育成事業として実施し、草津市美術協会、草津市文化協会、地元で活躍するアーティストと連携して、創作分野・伝統芸能分野・パフォーマンス分野での初心者向け連続講座を実施し、受講者の成果発表の場として芸術祭の中で展示や舞台発表を行う。	2,046千円	
⑤子どもおよび若者の文化活動の充実 （次世代）	(6)	〔再掲〕市民と創るコンサート	文化ホール	草津のゴスペルグループ「草津クワイア」のディレクターでありゴスペルシンガーの平田ゆり（草津市出身 東京都在住）を迎え、 「草津クワイア」と創るクリスマスコンサートを実施。 関連事業として6月23日(日)に「草津クワイア」によるロビーコンサートを実施。	2,788千円	C継続	クレアホール開館10周年を記念して、これまで連携してきた音楽団体等と音楽会を制作	1,836千円	7事業
	20	アートフェスタくさつ	生涯学習課	市内の文化団体を網羅する草津21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象としたアートワークショップを実施した。主な出演団体は、市内の文化団体の他、県立美術館、草津宿街道交流館、立命館大学学生サークル等。 また、アートフェスタの前には立木神社を会場としてイベントを開催し、県内外で活躍するアーティストによるワークショップ等を実施した。	1,814千円	C継続	前年度と同様の内容で実施予定。	1,836千円	
	21	キッズシネマ塾	生涯学習課	「野菜のまち 山田」をテーマに映画を作成した。また、上映会をアマカホールで実施した。	1,172千円	C継続	志津学区にフォーカスした内容で実施予定。	1,172千円	
	22	クレア舞台芸術学校	文化ホール	草津の魅力を紹介する総合舞台芸術（オリジナルミュージカル）を通して「まちづくり」の推進を目指すとともに「仲間づくり」など青少年の育成を目的とする。 草津歌劇団8期生を募集。オーディションに合格した小学3年生から中学3年生までが、総合舞台芸術（ミュージカル）に必要な歌唱・演技・ダンスを基礎から学び、舞台のマナーを身につけ、『ぼくの私の大好き草津70周年』に出演する。	6,637千円	C継続	9月に行われる国スポ開会式、障スポ開会式に出演後 3月の公演（滋賀県、障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業に協力）に向けて制作。	5,360千円	
	23	教育プログラム事業	草津宿街道交流館	史跡草津宿本陣こども向けワークショップを開催した。 ①また会おう！「ほんじんお楽しみ会」 ②ほんじんうちわを作ろう	0千円	C継続	前年度まで同様、他事業と関連して子ども向けにイベント企画・普及啓発を行っていく。	0千円	
	(4)	〔再掲〕クレアプラスフェスティバル	文化ホール	草津市芸術祭音楽部門と同日に開催。 市内中学・高校から大学・一般バンドが一堂に会するプラスの祭典。 各団体ごとの演奏、全出演団体対象の合同演奏。	1,324千円	B強化	草津市一般吹奏楽連盟を主にクレアプラスフェスとして実行委員会制で開催	1,597千円	
	(11)	〔再掲〕アートスタート事業	R6文化ホール R7生涯学習課	文化ホールと連携し、未就学児を対象としたオーケストラによるミニコンサートを開催した。	347千円 220千円	B強化	市の委託事業として予算規模を拡大して継続。将来の文化芸術の担い手や観客育成のため、演目の工夫やプロ奏者の起用を行い、未就学児を対象に親子で参加できる本格的なコンサートを開催する。	1,162千円	
	(13)	〔再掲〕次世代文化体験プロジェクト情報発信事業	生涯学習課	草津市教育委員会が後援している事業のうち、次世代文化体験プロジェクトに該当するものについて、該当事業をリスト化し、ホームページ、アプリ等で周知を行う。	0千円	C継続	前年度と同様の内容で実施予定。	0千円	
(18)	〔再掲〕アートスクール	生涯学習課	【文化ホール事業として】 絵画 6/5・6/12・7/3・7/10・8/7・8/21・9/4・9/11 立体 7/26・8/2・8/9・8/16・8/23 書 6/6・6/20・7/4・7/25・8/8・8/29・9/5・9/15 草津市芸術祭2024での展示を目標とした「立体」「書」「絵画」各部門の全5～8回の初心者向け美術講座を開校。講師に草津美術協会会員を迎え、部門ごとに数回のワークショップを実施した。	321千円	B強化	草津市美術協会、草津市文化協会、地元で活躍するアーティストと連携し、創作分野・伝統芸能分野・パフォーマンス分野における初心者向けの連続講座を、クレアホールやアマカホール、まちづくりセンターといった市内各地にて実施し、受講者の成果発表の場として草津市芸術祭の中で展示や舞台発表を行う。	1,665千円	8事業	

A拡大・B強化
E廃止

今後の取組・・・A：事業費を増加したもの B：内容を充実させるもの
C：昨年度の計画とおおむね同様の内容で開催するもの D：事業費を削減したもの E：廃止したもの
※事業費は決算額であり、事業予算が前年度と比して増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

				R 6		R 7		
				事業内容	事業費		昨年度からの変更点	事業予算
⑥ 高齢者、障害者等の文化活動の充実 （13万人）	24	こども芸術鑑賞応援制度	生涯学習課 文化ホール	文化ホールとの協働で実施。応募があった御家族を下記の公演に御招待した。 ・平田ゆりと創る クリスマスコンサート2024 ・草津歌劇団8期生 創作ミュージカル 対象公演数が少なかったことから寄付は未実施であり、R5年度からの繰越金で実施した。	0千円	C 継続	今年度は繰越金の不足が予想されることから、企業に対する寄付を募集したうえで実施予定。	0千円
	25	草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	日本語教室や異文化理解セミナー、交流イベント等を開催し、外国人住民および日本人住民への学びの場や交流の機会を提供し、国際交流および多文化共生の推進に努めた。 ・やさしい日本語サロン 40回 ・日本語ひろば 37回 ・日本語スピーチ大会 1回	9,130千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	9,945千円
	26	文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。（絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等）	1,004千円	C 継続	講座内容の充実を図るため、実施講座の見直しを行う。	958千円
⑦ 学校等における文化活動の充実 （次世代）	27	草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校（14校）5、6年生および中学校（市立6校、私立1校）全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一句投句してもらった。 小・中合わせて入賞作品100句には賞状を贈り、優秀作品については記念品を贈った。また、R6年1月下旬から2月上旬にかけて、市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表した。	294千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	313千円
	28	こころの劇場	文化ホール	草津市14学区の小学6年生を対象にした優れた芸術鑑賞会の機会を提供し、また、劇場マナーを身につけてもらう機会を提供するため。	1,550千円	B 強化	本公演（ファミリーコンサート）とは 別日で開催。	2,119千円
	29	博学連携事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館、史跡草津宿本陣では学校見学を受け入れた。各小学校からの依頼により、草津宿や本陣、各地域の歴史などについての出前授業を開催した。	0千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	0千円
	30	出張ブックトーク	図書館	司書が学校へ出向き、一つのテーマでいろんなジャンルの本を紹介することで、子どもたちの読書欲求の掘り起こしと読書領域を広げる役割を果たす一助とした。	0千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	0千円
	31	移動図書館学校等巡回	図書館	月1回のペース（長期休み除く）で巡回し、本の貸出・返却を行う。	0千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	0千円
	32	くさつビブリオバトル	学校教育課	「みなくさまつり」開催日に市民交流プラザ6階の各部屋を会場にして、「小・中学生、一般の部」と「英語の部」の2部で開催した。パトラーは1人3分で聴衆にお気に入りの本を紹介し、聴衆は最も読みたい本1冊に投票する書評合戦。	18千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	18千円
	33	草津市青少年美術展覧会	学校政策推進課	本市内の小・中学校から出展された平面・立体・書写作品と、市内幼稚園・保育園（所）・こども園等から出展された平面・立体作品をキラリエ草津で展示し、広く一般に公開した。	626千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	696千円
⑧ 文化によるまちづくりの推進 （ふるさと草津）	34	星降る映画館	生涯学習課	草津川跡地公園de愛ひろばのイベントスペースを活用した屋外映画館として「バックトゥザフューチャー」を上映予定であったが、雨天により中止となった。	1,167千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	1,551千円
	35	文化をツールとしたまちづくり事業	生涯学習課	【文化ホール事業として】消防音楽隊や警察音楽隊による親しみやすいコンサートに加え、「地震が発生した際に自分の身を守る3つの行動」を身につけるシェイクアウト体験や、消防・警察車両の展示、防災指導車であるグラドン号を利用した地震体験等、消防・警察に関する展示や体験を合わせて行い、防災や防犯の要素を取り入れたコンサート事業として実施する。	915千円	C 継続	市民の防災・防犯に係る意識付けと有事に備えるきっかけづくりを行うため、文化ホールの昨年の事業を踏襲しながら実施。	1,092千円
	36	草津宿場まつり	商工観光労政課	第56回草津宿場まつりは、市制70周年を記念して5年ぶりに東海道筋での時代行列を復活させ、姉妹都市や友好交流都市のPRブース設置やささまざまな体験コーナー、啓発コーナーも設置した。	15,000千円	B 強化	第57回草津宿場まつりは第56回到復活させた時代行列に加え、市役所エリアを6年ぶりに復活させ、新たな取組として草津駅東口デッキエリアでのフォトスポット、東海道筋での和装パレードなどを実施。	17,422千円
	37	くさつ華あかりフェスタ	商工観光労政課	第1回くさつ華あかりフェスタは、de愛ひろばイルミネーション・トワイライトコンサート・たび丸撮影会・ナイトグルメ・常善寺特別拝観・あおばなイルミを実施した。	2,852千円	C 継続	第2回くさつ華あかりフェスタでは、草津宿本陣の改修工事が終了したことから、第1回では中止していたライトアップを実施する予定。	3,135千円
	38	草津ブランド推進事業	商工観光労政課	草津発の特色あるブランド商品の創出を通じた地域産業の活性化を図るとともに草津市のイメージアップを図ることを目的に、草津ブランドの創造、浸透、発展に関する次の事業を行った。 ①Instagramによる情報発信事業 ②草津ブランドの啓発業務 ・草津ブランド市（7月27日）・みなくさ・スイーツ・パーティー（10月25日）・ここ滋賀物産（1月12日・13日）・ベジクサマルシェ（1月18日）の開催 ・草津ブランドパンフレットの作成 ・販路拡大 ・各種イベントへの参画、その他啓発事業等	473千円	C 継続	わたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催に合わせたイベントも検討する等、今年度も継続して、草津ブランドの更なる推進と市内の農商工業振興を図るため、事業実施を行う。	1,068千円
	39	草津版ヘルスツーリズム実証事業	商工観光労政課	「健幸」を意識しながら着地型観光の観点から本市の多様な地域資源の掘り起こしを行い、旅行という非日常的な楽しみの中で本市独自のヘルスツーリズムとして健康増進等を図る。	847千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	600千円
	40	歴史的資産や観光スポットを巡る周遊バスツアー事業	商工観光労政課	藤にまつわる名所（三大神社、志那神社、惣社神社、立木神社）を中心にめぐるツアーをバスツアー形式で実施した。また、藤にまつわる名所以外にも歴史的資産や観光スポット（水生植物公園みずの森、サンヤレ踊り、芦浦観音寺）をツアー内容に組み込んで実施した。	682千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	600千円
	41	草津小市	都市地域戦略課	R6年度は、草津駅周辺エリア未来ビジョンの策定に係る取組として、11月に旧東海道において人中心のウォークブルな空間をつくる社会実験「シェフズ ロング テーブル」を実施したため、草津小市を一年休止した。	0千円	C 継続	R5年度と同程度の規模を想定。器や食にまつわるものの販売、ワークショップの実施し、草津の日常や風景の魅力を発信する。	600千円
	(24)	〔再掲〕こども芸術鑑賞応援制度	生涯学習課 文化ホール	文化ホールとの協働で実施。応募があった御家族を下記の公演に御招待した。 ・平田ゆりと創る クリスマスコンサート2024 ・草津歌劇団8期生 創作ミュージカル 対象公演数が少なかったことから寄付は未実施であり、R5年度からの繰越金で実施した。	0千円	C 継続	今年度は繰越金の不足が予想されることから、企業に対する寄付を募集したうえで実施予定。	0千円
	(26)	〔再掲〕文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。（絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等）	1,004千円	C 継続	講座内容の充実を図るため、実施講座の見直しを行う。	958千円

文化事業調査結果 一覧

資料⑤

A拡大・B強化
E廃止

今後の取組・・・A：事業費を増加したもの B：内容を充実させるもの
C：昨年度の計画とおおむね同様の内容で開催するもの D：事業費を削減したもの E：廃止したもの
※事業費は決算額であり、事業予算が前年度と比して増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

				R 6		R 7		
				事業内容	事業費		昨年度からの変更点	事業予算
⑨文化を通じてた出会いおよび交流の創出 (13万人)	42	図書館ビブリオバトル	図書館	小学生から大人まで幅広い年齢の方が参加され、異年齢交流の場となった。また、ビブリオバトルの関連本を紹介することで、読書領域の拡大につながった。	0千円	C継続	多くの方に気軽に参加してもらえるように会場を図書館と南草津図書館交互で引き続き実施する。	0千円
	(7)	〔再掲〕アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業	UDCBK	都市デザインマネジメントスクールでは、都市デザイン・まちづくりに関するテーマについて、全国の先進事例の紹介や社会実験等を効率的に進めるための講演を5回実施した。 アーバンデザインセミナーでは、広く市民がアーバンデザインを身近に感じることができるよう、「地域のまちづくりの課題」をテーマにセミナーを4回開催した。	284千円	E廃止	—	—
	(8)	〔再掲〕みなくさまつり	商工観光労政課	市制施行70周年・立命館大学BKC開設30周年・JR南草津駅開業30周年を記念し、ブースを増やすとともに、エリアを拡大しての開催となった。	2,685千円	D縮小	R5までの例年通りの規模での開催を予定している。	2,185千円
	(17)	〔再掲〕クリエイターズマーケット	生涯学習課	展示／販売／ワークショップの他、食のマルシェやライブなど県内外で活躍するアーティスト、クリエイターによる出店を行った。 作家：12組 飲食：21組 パフォーマンス：6組	※アートフェスタに含む	C継続	今後、実行委員会にて事業計画を検討していく。	※アートフェスタに含む
	(20)	〔再掲〕アートフェスタくさつ	生涯学習課	市内の文化団体を網羅する草津21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象としたアートワークショップを実施した。主な出展団体は、市内の文化団体の他、県立美術館、草津宿街道交流館、立命館大学学生サークル等。 また、アートフェスタの前には立木神社を会場としてプレイベントを開催し、県内外で活躍するアーティストによるワークショップ等を実施した。	1,814千円	C継続	前年度と同様の内容で実施予定。	1,836千円
	(25)	〔再掲〕草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	日本語教室や異文化理解セミナー、交流イベント等を開催し、外国人住民および日本人住民への学びの場や交流の機会を提供し、国際交流および多文化共生の推進に努めた。 ・やさしい日本語サロン 40回 ・日本語ひろば 37回 ・日本語スピーチ大会 1回	9,130千円	C継続	前年度と同様の内容で実施予定。	9,945千円
	(9)	〔再掲〕くさつ図書館まつり	図書館	ボランティアの方に協力いただきながら図書館主催で開催した。書庫ツアーやビブリオトーク、折り紙遊び、おはなし会など、子どもから大人まで図書館と本を楽しめるイベントを実施した。 また、市制施行70周年記念として、絵本マラソンを行い、70冊の絵本の読み聞かせを行った。	0千円	C継続	図書館DAYとして企画を再編し、図書館主催で実施する。	0千円
	(32)	〔再掲〕くさつビブリオバトル	学校教育課	「みなくさまつり」開催日に市民交流プラザ6階の各部屋を会場にして、「小・中学生、一般の部」と「英語の部」の2部で開催した。バトルは1人3分で聴衆にお気に入りの本を紹介し、聴衆は最も読みたい本1冊に投票する書評合戦。	18千円	C継続	前年度と同様の内容で実施予定。	18千円
⑩文化的資産の承継および活用 (ふるさと草津)	43	俳句入門講座	生涯学習課	初心者を対象に、俳句の基礎を学ぶ全4回の連続講座を開催。うち1回は、草津宿街道交流館で現地学習を行い、草津の歴史や文化に触れたあとに句を詠み、講師から句評を受けた。	52千円	C継続	前年度は改修工事で見学できなかった草津宿本陣の見学を従来通り行うこととし、より草津の歴史や文化に触れられる機会を作ることで、俳句作りを通して草津の魅力を知っていただく。	52千円
	44	ふるさと草津俳句会	生涯学習課	年4回、広報くさつや図書館・各地域まちづくりセンター等において投句を募集し、広報くさつ・草津市ホームページ・えふえむ草津で優秀作を発表する。	34千円	C継続	前年度と同様の内容で実施予定。	35千円
	45	草津あおばな会運営費補助事業	農林水産課	①市立水生植物公園みずの森にて「第20回草津あおばなフェスタ」を開催した。 ②みんなでトークの開催 ③市関係施設への啓発用あおばな苗配布や啓発冊子の作成・配布 ④あおばな苗一般配布 ⑤BKCウェルカムデー びわこ・くさつ健幸フェスタにて出店 ⑥草津市市制施行70周年記念DVDの作成	500千円	C継続	令和6年度に作成したアオバナのDVDを活用し、アオバナのさらなる普及啓発を図る。	500千円
	46	文化財保護助成事業	歴史文化財課	指定文化財所有者および管理者に対し、文化財保存管理に係る補助を行い、当該文化財の保護継承等を図った	1,438千円	C継続	前年度と同様の内容で実施予定。	1,884千円
	47	くさつ・歴史発見塾開催事業	草津宿街道交流館	学識経験者などを講師に招き、今年度のテーマである「道の国近江」について多方面から見識を深める歴史講座を開催した。 第1回 1月11日、第2回 1月25日、第3回 2月1日 第4回 2月8日、第5回 2月15日	120千円	C継続	前年度と同様の内容で実施予定。	110千円
	48	草津宿街道交流館テーマ展開催事業	草津宿街道交流館	秋季テーマ展「市制施行70周年記念「草津の70年」」 会期：令和6年9月28日（土）～11月17日（日） 春季テーマ展「浮世絵から知ろう！「江戸時代の出版事情」」 会期：令和7年3月15日（土）～5月11日（日）	620千円	C継続	前年度同様に、草津宿や街道の歴史・文化について理解を深められる内容の展示を開催する。	929千円

8事業

A 拡大・B 強化
E 廃止

今後の取組・・・A：事業費を増加したもの B：内容を充実させるもの
C：昨年度の計画とおおむね同様の内容で開催するもの D：事業費を削減したもの E：廃止したもの
※事業費は決算額であり、事業予算が前年度と比して増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

				R 6		R 7		
				事業内容	事業費		昨年度からの変更点	事業予算
⑩ 文化的資産の継承および活用 (ふるさと草津)	49	草津宿本陣結婚式	草津宿街道交流館	草津市観光物産協会に加盟するホテルが、結婚式の前撮りの撮影を史跡草津宿本陣で行なった。	0千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	—
	50	史跡草津宿本陣 特別開館「ほんじんナイトミュージアム！」	史跡草津宿本陣	耐震補強に係る休館のため、未実施。	0千円	C 継続	令和6年度は耐震補強工事に係る休館のため、事業未実施となったが、令和7年度は、令和5年度までと同様に実施する。	0千円
	51	本陣楽座・伝統文化に触れるワークショップ事業	史跡草津宿本陣	「本陣楽座 落語会」を年7回開催した。また、夏に1回「本陣楽座 落語会 特別版」をアマカホールにて開催。	600千円	C 継続	実施回数を年7回から年3回に変更するが、1回あたりの参加人数を増やすことで対応する。	216千円
	52	本陣四季彩々事業	史跡草津宿本陣	耐震補強に係る休館のため、未実施。	0千円	C 継続	令和6年度は耐震補強工事に係る休館のため、事業未実施となったが、令和7年度は、令和5年度までと同様、本陣や歴史、伝統文化などへの興味関心の高まりを促すとともに、歴史的な空間を再体験する機会を提供する。	827千円
	53	くさつ桜まつり	都市地域戦略課	これまでの草津川跡地公園de愛ひろば、クロスアベニュー、マンボのとなり・みんなのハナレ、くさつ夢本陣の会場に加え、駅デッキ、草津宿街道交流館、そして耐震工事が完了した草津宿本陣を新たな会場とした。	865千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	850千円
	(21)	〔再掲〕キッズシネマ塾	生涯学習課	「野菜のまち 山田」をテーマに映画を作成した。また、上映会をアマカホールで実施した。	1,172千円	C 継続	志津学区にフォーカスした内容で実施予定。	1,172千円
	(22)	〔再掲〕クレア舞台芸術学校	文化ホール	草津の魅力を紹介する総合舞台芸術（オリジナルミュージカル）を通して「まちづくり」の推進を目指すとともに「仲間づくり」など青少年の育成を目的とする。 草津歌劇団8期生を募集。オーディションに合格した小学3年生から中学3年生までが、総合舞台芸術（ミュージカル）に必要な歌唱・演技・ダンスを基礎から学び、舞台のマナーを身につけ、『ぼくの私の大好き草津70周年』に出演する。	6,637千円	C 継続	9月に行われる国スポ開会式、障スポ開会式に出演後 3月の公演（滋賀県、障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業に協力）に向けて制作。	5,360千円
	(23)	〔再掲〕教育プログラム事業	草津宿街道交流館	史跡草津宿本陣こども向けワークショップを開催した。 ①また会おう！「ほんじんお楽しみ会」 ②ほんじんうちわを作ろう	0千円	C 継続	前年度まで同様、他事業と関連して子ども向けにイベント企画・普及啓発を行っていく。	0千円
	(27)	〔再掲〕草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校（14校）5、6年生および中学校（市立6校、私立1校）全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一句投句してもらった。 小・中合わせて入賞作品100句には賞状を贈り、優秀作品については記念品を贈った。また、R6年1月下旬から2月上旬にかけて、市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表した。	294千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	313千円
	(29)	〔再掲〕博学連携事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館、史跡草津宿本陣では学校見学を受け入れた。各小学校からの依頼により、草津宿や本陣、各地域の歴史などについての出前授業を開催した。	0千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	0千円
	(36)	〔再掲〕草津宿場まつり	商工観光労政課	第56回草津宿場まつりは、市制70周年を記念して5年ぶりに東海道筋での時代行列を復活させ、姉妹都市や友好交流都市のPRブース設置やさまざまな体験コーナー、啓発コーナーも設置した。	15,000千円	B 強化	第57回草津宿場まつりは第56回に復活させた時代行列に加え、市役所エリアを6年ぶりに復活させ、新たな取組として草津駅東口デッキエリアでのフォトスポット、東海道筋での和装パレードなどを実施する予定である。	17,422千円
	(37)	〔再掲〕くさつ華あかりフェスタ	商工観光労政課	第1回くさつ華あかりフェスタは、de愛ひろばイルミネーション・トワイライトコンサート・たび丸撮影会・ナイトグルメ・常善寺特別拝観・あおばなイルミを実施した。	2,852千円	C 継続	第2回くさつ華あかりフェスタでは、草津宿本陣の改修工事が終了したことから、第1回では中止していたライトアップを実施する予定。	3,135千円
	(38)	〔再掲〕草津ブランド推進事業	商工観光労政課	草津発の特色あるブランド製品の創出を通じた地域産業の活性化を図るとともに草津市のイメージアップを図ることを目的に、草津ブランドの創造、浸透、発展に関する次の事業を行った。 ①インスタグラムによる情報発信事業 ②草津ブランドの啓発業務 ・草津ブランド市（7月27日）・みなくさ・スイーツ・パーティー（10月25日）・ここ滋賀物産（1月12日・13日）・ベジクサマルシェ（1月18日）の開催 ・草津ブランドパンフレットの作成 ・販路拡大 ・各種イベントへの参画、その他啓発事業等	473千円	C 継続	わたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催に合わせたイベントも検討する等、今年度も継続して、草津ブランドの更なる推進と市内の農商工業振興を図るため、事業実施を行う。	1,068千円
	(39)	〔再掲〕草津版ヘルスツーリズム実証事業	商工観光労政課	「健幸」を意識しながら着地型観光の観点から本市の多様な地域資源の掘り起こしを行い、旅行という非日常的な楽しみの中で本市独自のヘルスツーリズムとして健康増進等を図る。	847千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	600千円
	(40)	〔再掲〕歴史的資産や観光スポットを巡る周遊バスツアー事業	商工観光労政課	藤にまつわる名所（三大神社、志那神社、惣社神社、立木神社）を中心にめぐるツアーをバスツアー形式で実施した。また、藤にまつわる名所以外にも歴史的資産や観光スポット（水生植物公園みずの森、サンヤレ踊り、芦浦観音寺）をツアー内容に組み込んで実施した。	682千円	C 継続	前年度と同様の内容で実施予定。	600千円
	(41)	〔再掲〕草津小市	都市地域戦略課	R6年度は、草津駅周辺エリア未来ビジョンの策定に係る取組として、11月に旧東海道において人中心のウォークアブルな空間をつくる社会実験「シェフズ ロング テーブル」を実施したため、草津小市を一年休止した。	0千円	C 継続	R5年度と同程度の規模を想定。器や食にまつわるものの販売、ワークショップの実施し、草津の日常や風景の魅力を発信する。	600千円